



2021年11月24日

各 位

会 社 名 **ダイコク電機株式会社**
代表者名 代表取締役社長 大上 誠一郎
(コード番号 6430 東証・名証第一部)
問合せ先 常務取締役管理統括部長 栢森 啓
(TEL 052-581-7111)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、本日の取締役会におきまして、2023年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画を決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 計画期間 2023年3月期から2025年3月期（2022年度～2024年度）までの3カ年
2. 経営理念 イノベーションによる新しい価値づくりを通じ、
これからも一貫して持続的な成長を果たしてまいります。
3. 重点施策 将来の市場環境の変化に対応するため、
事業部毎のドメインを再構築してまいります。
4. 数値目標 2025年3月期の数値目標（連結）

(百万円)

	2022年3月期（計画）	2025年3月期（計画）	増 減
売上高	26,000	34,000	+30.8%
営業利益	850	2,200	+158.8%
営業利益率	3.3%	6.5%	+3.2%
当期純利益	650	1,500	+130.8%
(ご参考) EBITDA	2,780	4,000	+43.9%

※中期経営計画の詳細につきましては、添付資料をご参照願います。

※本資料及び添付資料に記載されている情報は、本資料作成時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、外部環境の変化等による様々な要因の変化により、記載内容と異なる可能性があります。

以 上



中期経営計画

2022~2024

事業環境

▶ 遊技機市場の変化

スマート遊技機を主力とした新時代

2022年2月～

完全
新基準機



移行が確定

2022年6月～

スマート遊技機の
新規導入

遊技性能アップ

パチンコホール毎に
集客力の差が顕著

有力企業が
さらに強くなる

2022年下期～

スマート遊技機の
増台

遊技性能をファンが認知

ファンの増加

新規店舗の増加

事業環境

▶ 情報システム事業部の強み

2020年度実績
ホール業績上位20社のシェア **80%**

2022年6月～

スマート遊技機の
新規設置
1年目



2023年4月～

スマート遊技機の
増台
2年目



2024年4月～

スマート遊技機の
増台
3年目

スマート遊技機用ユニット
販売&配線工事の増加

ホールコンピュータ「X」
の普及

情報公開端末の入替え増加

パチンコホール新店の増加

**設備市場の
活性化が
継続する**

スマート遊技機への入替えが進むことで、業績に期待できる

3年間に注力する重点施策

将来の市場環境の変化に対応していくために
各事業部のドメインを再設定する

情報システム事業部

業界唯一のプラットフォームを構築する



新MGサービスの拡充

※ストック型ビジネス(パチンコホール経営支援サービス)

情報システム事業部

▶ 3年後の目指す姿

クラウド

業界データ

- ・自社ホールコンピュータ
- ・他社ホールコンピュータ
- ・ファン行動 ・サイトアクセス
 - ・ Wi-Fiアクセス
- ・スタッフ情報 ・カメラ映像

パチンコ業界 プラットフォーム

クラウドサーバー

- ・予測エンジン
- ・異常検知エンジン
- ・レコメンドエンジン

外部データ

- ・人口統計 ・行動心理
- ・商圈特性 ・人流データ
- ・ SNS、アプリ



MGサービス

※ストック型ビジネス

既存製品



情報公開端末



ホールコンピュータ



CRユニット

景品・顧客

▶ 3年間の戦略

クラウド

- ① ホールコンピュータに依存しない、
クラウドサーバーを活用した**ビジネス**をスタートする
- ② 新MGサービスの拡大により**安定収益の増加**を目指す

既存製品

- ① 新基準機、スマート遊技機など業界の変化に柔軟に対応した製品、
サービスをタイムリーに市場投入し、**各製品の市場シェア拡大**を目指す
- ② **省力化、省人化**を更に具現化し、
ホールスタッフの**働き方、ファンの集客戦略**を変える

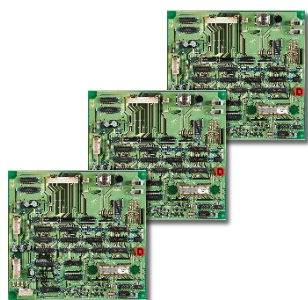
3年間に注力する重点施策

将来の市場環境の変化に対応していくために
各事業部のドメインを再設定する

制御システム事業部

事業部の主軸を
「パチンコ」から「スマートパチスロ」へ

メダルレス筐体とソフト開発体制を完成させ、3年後には利益の柱とする



3年間の投資計画（連結）

	前3カ年合計	計画値
	2019年度～2021年度 (2020年3月期～2022年3月期) (累計見込)	2022年度～2024年度 (2023年3月期～2025年3月期) (累計見込)
研究開発費	28億円(累計)	40億円(累計) スマートパチスロ含む(制御事業部)
設備投資	41億円(累計)	62億円(累計) サーバー開発費含む(情報事業部)
減価償却費	60億円(累計)	50億円(累計)

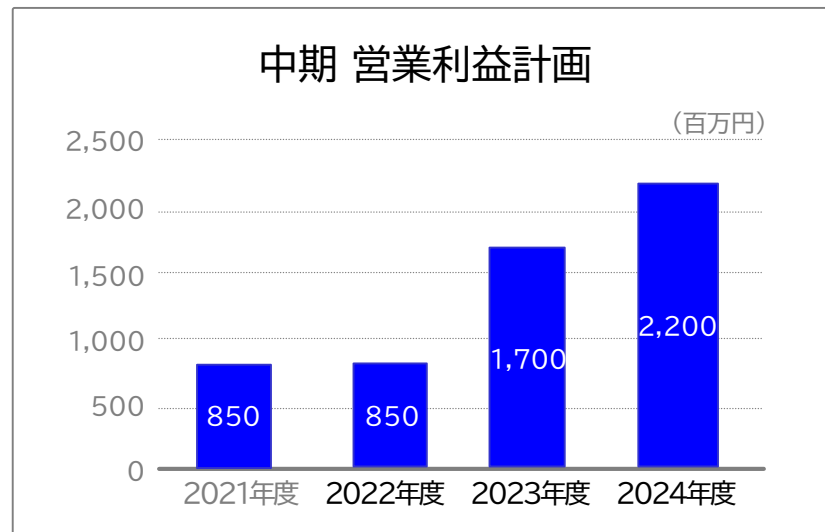
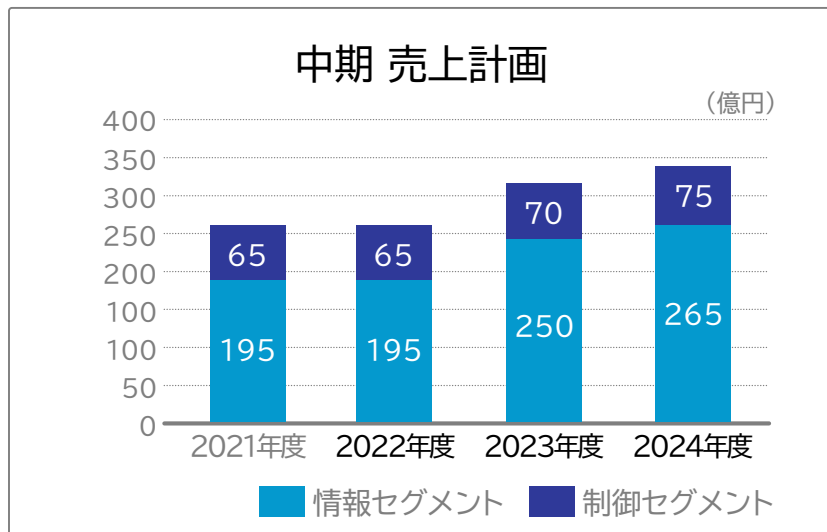
将来目指す収益構造

▶ 業績

売上高 340億円

営業利益 22億円

当期純利益 15億円



項目	2019年度	2020年度	2021年度
	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	32,922	23,345	26,000
売上総利益	12,040	9,504	10,400
販売管理費	10,608	8,897	9,550
営業利益	1,431	607	850
経常利益	1,674	986	1,000
当期純利益	1,061	612	650

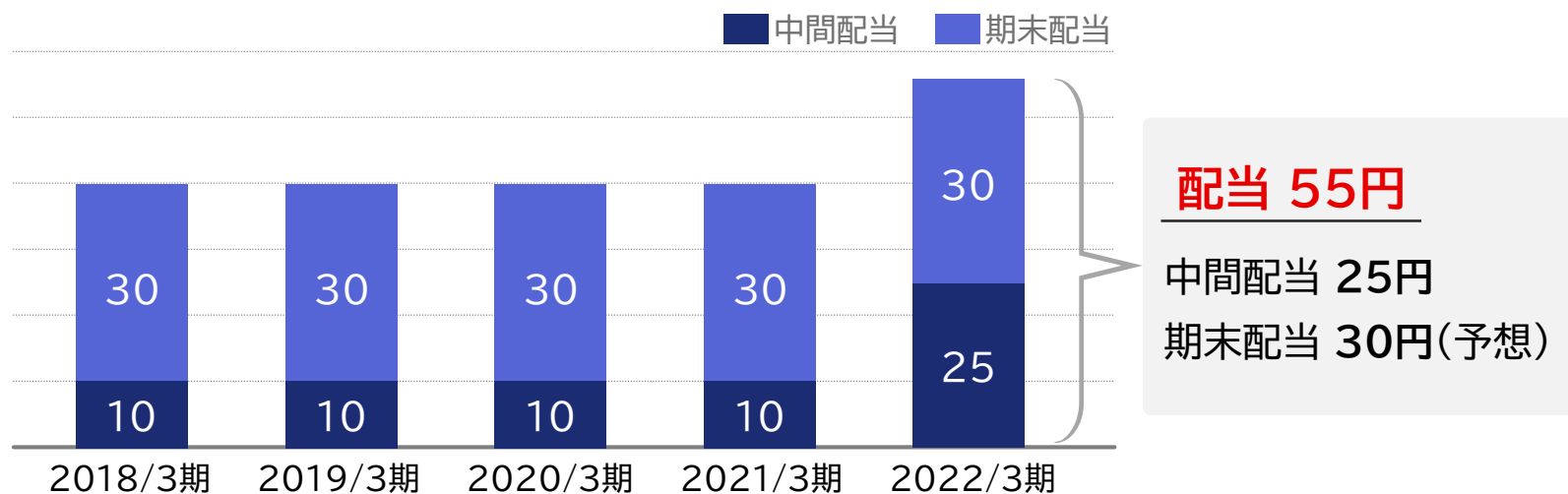
項目	2022年度	2023年度	2024年度
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	26,000	32,000	34,000
売上総利益	10,400	11,970	13,100
販売管理費	9,550	10,270	10,900
営業利益	850	1,700	2,200
経常利益	950	1,800	2,300
当期純利益	650	1,200	1,500

その他

株主還元について
サステナビリティについて

配当について

▶ 安定配当を基本方針に、業績に応じて特別配当を実施



	中間配当	期末配当	合計	配当性向	DOE
2018年3月期	10	30	40	75.3%	2.0%
2019年3月期	10	30	40	46.8%	2.0%
2020年3月期	10	30	40	55.7%	1.9%
2021年3月期	10	30	40	96.5%	1.9%
2022年3月期 (予想)	25	30	55	125.1%	2.7%

株主優待制度について

- ▶ 2021年度より、株主優待制度を再開
(2022年3月期)

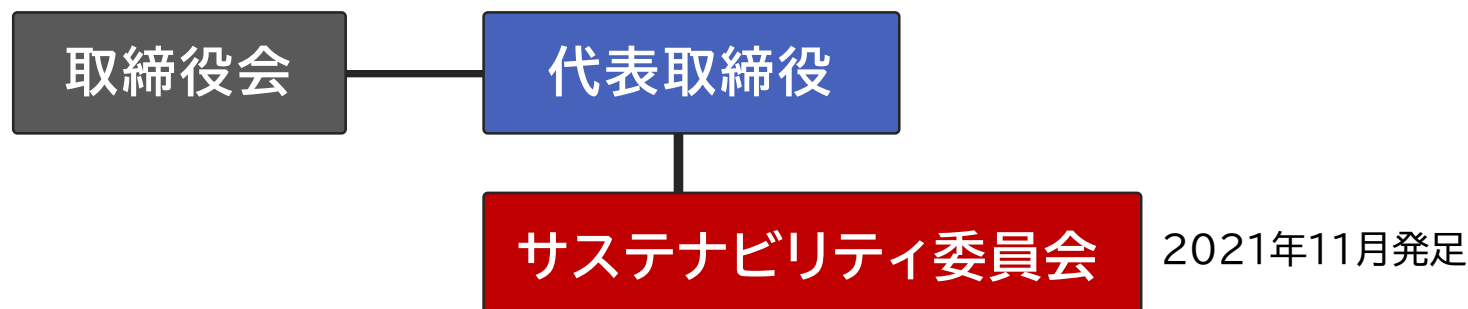


保有株式および継続保有期間に応じて
クオカードを贈呈

保有株式数	継続保有期間		
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上
100株以上500株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
500株以上1,000株未満	2,000円分	3,000円分	4,000円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分	5,000円分

サステナビリティへの取組み

- ▶ 2021年11月にサステナビリティ委員会を設置



経営理念

イノベーションによる新しい価値づくりを通じ
これからも一貫して持続的な成長を果たしてまいります

サステナビリティ
方針

※2022年3月までにサステナビリティ方針を策定し
マテリアリティを特定